

技能評価システム移転促進事業(SESPP)は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組などをお知らせしています。(年3回発行)

## □研修レポート

### ■日本における本邦研修 技能競技大会セミナー(情報ネットワーク施工)

2023年11月14日(火)～25日(土)に、日本に活動対象国の政府関係者と指導員を招聘しての、本邦研修が開催されました。今回はカンボジアから労働職業訓練省スタンダードカリキュラム部(DSC)2名、プリア・ゴソマック・ポリテク大学(PPI)、カンボジア国立ポリテク大学(NPIC)、国立技術訓練大学(NTTI)からの指導員4名、計6名が参加しました。今回の参加者は本事業の現地主管省庁担当官と2021年度から実施している競技課題採点・評価者セミナー(情報ネットワーク施工)の受講経験者です。

#### 本邦研修実施内容

本プログラムは、①日本における公共職業訓練制度、技能検定・技能競技大会の概要等の講義・説明、②訓練施設・技能検定実施機関の視察・訪問、③技能五輪全国大会の視察、④技能競技大会運営方法に関するセミナー、で構成されます。④の期間には、政府関係者は別プログラムで、厚生労働省、中央職業能力開発協会(JAVADA)、東京都職業能力開発協会を訪問しての講義・説明を受けました。

#### ●公共職業訓練の概要

日本の公共職業訓練の概要を内野智裕氏(厚生労働省海外協力室、海外協力推進官)より講義いただきました。参加者からは、日本の人気職業についての質問や意見交換がなされました。

#### ●事務局からの講義

日本の技能検定と技能競技大会の概要および技能評価のための採点の原則と手法に関する講義を、稲川文夫氏(SESPP事務局技術顧問)よりいただきました。

#### ●カントリーペーパー発表

Bun Heang氏(DSC副部長)からカンボジアの技能検定制度や技能競技大会についての発表があり、カンボジアでの制度、実施状況が共有されました。

#### ●技能五輪全国大会視察

愛知県国際展示場で開催された技能五輪全国大会を、研修後半に実施する技能競技大会セミナーで実施する情報ネットワーク施工を中心に2日間にわたり視察しました。初日視察前に、JAVADA 技能振興部須藤次長より、大会の概要の説明をいただきました。

#### ●職業訓練施設視察

##### ・神奈川県立産業技術短期大学校

大学校の設立趣旨と沿革、事業内容の説明ののち、訓練施設の視察を行いました。大学校の様々な役割に参加者も大変興味を示していました。

##### ・千葉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター千葉)

センターの事業内容を説明ののち、訓練施設を視察しました。参加者からは短期間の訓練コースで求職者が就業できるカリキュラムに驚きの感想が上がっていました。両施設を視察することで、それぞれの職業訓練における役割の違いや、日本の職業訓練制度についてより深い理解を得たとの声がありました。

## ●技能競技大会セミナー

3日間にわたり、情報ネットワーク施工職種における、技能競技大会運営に関する指導が行われました。講師は松本祥孝氏(関西職業能力開発促進センター)、伊藤進氏(株式会社きんでん)、前田洋介氏(株式会社 ミライト・ワン)、横山泰彦氏(株式会社関電工)、にご担当いただきました。

参加者は実際に技能競技大会の課題に取り組み、評価作業まで行い、技能競技大会運営ノウハウの習得につとめました。

カンボジアでの技能競技大会では、本職種はまだ競技職種として採用されておらず、2024年度に開催される技能競技大会で競技種目または模擬競技として実施することを目標として、実施いたしました。

## ●政府関係者プログラム

政府関係者2名は、日本の技能検定制度を担う厚生労働省(能力評価担当参事官室)、中央職業能力開発協会(技能検定部)、東京都職業能力開発協会(技能検定部)を訪問し、日本の技能検定制度の仕組み、それぞれの機関の役割、実施運営方法等についての講義、説明をうけました。

## ●アクションプラン発表・閉講式

10日間にわたる研修成果をもとに、カンボジア参加者からアクションプランの発表がありました。指導員からは「技能課題の作成と準備について」、政府関係者からは「情報ネットワーク施工のカンボジアでの開催までのスケジュール」の発表がありました。

内野氏(厚生労働省)からは、『本職種は施工して終わりではなく保守も伴う。保守を想定した施工を心掛ける必要がある。本研修の成果を自国の実情に合わせて是非活かしてほしい。』等の講評をいただきました。



公共職業訓練についての講義風景



技能検定と技能競技大会概要の講義風景



カントリーペーパー発表風景



技能五輪全国大会見学風景



神奈川県立産業技術短期大学校視察風景



ポリテクセンター千葉視察風景



技能大会セミナー実施風景



厚生労働省より政府関係者への講義風景



集合写真

## ■ベトナムにおける機械検査3級の技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC)

2023年9月14日(木)～9月18日(月)に機械検査3級の技能評価トライアル(SET)および技能評価者認定(SAC)がサイゴンハイテクパーク訓練センター(SHTP-TC)およびミツバベトナム社工場にて実施されました。SETの評価者は12名でしたが、内5名がSAC対象者で、新たな評価者として4名が認定されました。機械検査3級の認定評価者はベトナム南部で13名となり、検定の自立的運営に向けて大きく前進いたしました。受検者は21名で、内12名が合格しました。

講師の稲川 文夫氏(SESPP事務局 技術顧問)からは、『今回のSETに関しては、SHTP-TCの二人の責任者(Mr.Khoa, Mr.Chau)の下で、非常に統制の取れた実施・運営がされていた。今後、彼等が自立して実施できることを確信した。問題の作成・準備は、学科試験問題集から問題30問を精選して学科試験問題を編成したが、科目別に適切な問題が選ばれており、試験問題の編成に関しては要領を会得している』等のコメントがありました。

受講者からは、『本研修を通して、企業の発展に貢献できれば嬉しい。』、『SETの回数を増やしてほしい』等の意見が寄せられました。



専門家による講義風景



技能評価トライアル学科試験風景



技能評価トライアル実技試験風景

## ■ラオスにおける配電盤・制御盤組立て作業3級の技能評価者講習(SAT)、技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC)

2023年12月11日(月)～12月15日(金)に配電盤・制御盤組立て作業3級の技能評価者講習(SAT)、技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC)がビエンチャンの技能開発院(SDI)にて実施されました。ラオスにおける研修は8年ぶりに実施され、今回は当該職種の総仕上げであるSACを実施することができました。評価者10名中、SAC対象者は6名おり、6名全員がラオスにおいて初となる評価者に認定されました。SETでは受検者は4名中、1名が合格しました。

研修は、SATにて『技能評価者職務チェックシート解説』、『3級実技試験問題解説』、『3級実技試験実施要領解説』、『採点方法研修』等を、SETにて、『学科試験』、『実技試験』、『採点・集計』の内容で実施、最終的にSACにて評価者チェックシートに基づき、専門家が、受講者と面談を実施した上で、評価者認定を行いました。

講師の萩生田 幸男氏(高和電気工業株式會社)からは、『8年ぶりの開催となったが、評価者認定を行うことができたことは、大変有意義である。一方受検者は、スピードはあったが、細かな基準が把握できていなく、また配線後のチェック不足も見受けられた事もあり、更に訓練が必要であると感じた。』との講評をいただきました。

受講者からは、『継続的に研修を実施してほしい』、『研修期間を長くしてほしい』等の意見が寄せられました。



専門家による講義風景



技能評価トライアル実技試験採点風景



評価者認定風景

## □インドネシアで2023年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるインドネシアと12月4日(月)に官民合同委員会をジャカルタで開催いたしました。メンバーは国家職業資格認証機構(BNSP)、金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、インドネシア金型工業会(IMDIA)、在インドネシア日本大使館、厚生労働省、SESPP事務局およびその他本事業に関係する者で構成され、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換等を議題に開催いたしました。

### ■インドネシア

日時 参加者	2023年12月4日(月) 09:00-12:00(インドネシア時間) (国家職業資格認証機構(BNSP)、金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、インドネシア金型工業会(IMDIA)、在インドネシア日本大使館、現地訓練校、厚生労働省、SESPP事務局およびその他関係者)
参加者数	21人
今年度実施した 職種の成果	・プラスチック成形2級 技能評価者講習、技能評価トライアル、技能評価者認定(認定評価者7名誕生)
次年度の職種に 係る主な議論	<p>《技能検定》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標：技能検定の定着及び実施種目のレベルアップ</li> <li>・活動：2023年までの事業のフォローアップ(技能評価トライアル、評価者認定)</li> <li>・2024年度の事業実施案：『機械製図CAD作業2級SAT/SET』</li> </ul>
今後の両国間の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IMDIAより、「次年度は機械製図CAD作業2級のフォローアップが提案されたが、実際の現場で用いる3次元CADを取り入れた研修の実施を要望する」との意見があり、SESPP事務局より、「機械製図CAD作業を実施する場合、IMDIAからの要望を専門家に伝え、協議の上で実施内容を決めていく」と回答した。</li> <li>・プラスチック成形は2013年に開始し、合格者の累計は、Level 3で117名、Level 2は52名、Level 1では25名である。Level 1合格者のなかで、評価者となっているのは、3名である旨、情報共有された。</li> </ul>

## 『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTБ 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階  
 TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266  
 担当 : 近藤・池田・岩下  
 E-mail : [sespp@jtb.com](mailto:sespp@jtb.com)